

◆「徴収猶予申請書」の書き方

徴収猶予・期間延長申請書							
大阪府知事様 大阪府〇〇府税事務所				平成28年5月10日			
住所又は所在地 大阪市北区〇〇町1-2-3		氏名又は名称 大阪太郎		住所又は所在地		氏名又は名称	
地方税法第15条の2第1項の規定により、次のとおり徴収猶予・期間延長を申請します。							
申請理由	平成28年4月10日に交通事故に遭い、4月30日まで〇〇病院に入院し、その後も通院している。〇〇病院に治療費及び入院費として32万円を支払ったため、府税を一時に納付することができない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">猶予該当事実があったことにより、一時に納付することができない事情の詳細を具体的に記載します。</div>						
納付すべき徴収金	年度	期別	税目	納期限	税額	加算金額	延滞金額
	H28	随時	不動産取得税	H28.5.2	300,000		要す
					円	円	円
					円	円	円
	合計				300,000	円	円
納付すべき徴収金のうち徴収の猶予を受けようとする金額				250,000	円	円	円
申請期間	平成28年5月10日から平成29年1月31日まで						
納税計画	納付・納入日	平成28年5月31日	納付・納入日	平成28年6月30日	納付・納入日	平成28年8月1日	納付・納入日
		30,000		30,000		30,000	
	納付・納入日	平成28年8月31日	納付・納入日	平成28年9月30日	納付・納入日	平成28年10月31日	納付・納入日
		30,000		30,000		30,000	
納付・納入日	平成28年11月30日	納付・納入日	平成28年12月28日	納付・納入日	平成29年1月31日	納付・納入日	平成29年1月31日
	30,000		30,000		10,000円及び法律による金額		円
納付・納入日	年 月 日	納付・納入日	年 月 日	納付・納入日	年 月 日	納付・納入日	年 月 日
担保の内容	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 該当事実を証する書類 <input checked="" type="checkbox"/> 財産収支状況書 <input type="checkbox"/> 担保関係書類 <input type="checkbox"/> その他 ()		
備考							

- 申請書を提出する日を記載します。
- 住所(所在地)、氏名(名称)を記載します。
※申請者が法人の場合は、代表者の氏名を併せて記載します。
- 法人の場合は、法人番号を記載します。(13桁)
- 徴収猶予の申請(災害、病気、事業の休廃止など)
⇒地方税法第15条の2第1項
●徴収猶予の申請(法定納期限から1年を経過した日以後に納付すべき税額が確定した場合)
⇒地方税法第15条の2第2項
- 未納となっている府税をすべて記載します。
延滞金については、本税の全額を納付していないときは、「要す」と記載します。
- 納付すべき徴収金「合計」額から、「財産収支状況書」の「現在納付可能資金額」を差し引いた金額を記載します。
- 「猶予期間の開始日」及び「納付計画の最終日」を記載します。
※「猶予期間の開始日」とは、通常は申請書を提出する日です。ただし、納期限以前に申請書を提出する場合は納期限の翌日とします。
- 「財産収支状況書」の「分割納付計画」欄から転記します。
- 申請書に添付する書類にチェックを付けます。

注意： 1 申請金額、期間又は納税計画は審査により変更して承認することがあります。
2 「納税計画」欄の最終の「納付・納入日」欄の金額に「及び法律による金額」と付記してください。

- 担保を提供する必要がある場合には「有」にチェックを付け、提供する財産の種類、数量、価額及び所在等を記載します。
- 担保を提供する必要がある場合(①猶予を受けようとする金額が100万円以下、②猶予を受けようとする期間が3月以内、③担保を提供することができない特別な事情がある)には、「無」にチェックを付けます。
※上記③に該当する場合には、担保を提供することができない特別な事情を記載します。